

171-0014東京都豊島区池袋4-17-10 土屋ビル4F

AA

日本ニューズレター No.111

## AA日本30周年記念集会開催のお知らせ

私の責任: 誰かが、どこかで助けを求めたら、必ずそこにAAの愛の手が、あるようにしたい。それは私の責任だ。



30年前にAA(アルコールクス・アノニマス)のメッセージが届けられてから、全国に今日のAAグループが次々に誕生し、一体性の輪がひろがってきました。

AAグループの第一の目的～まだ苦しんでいるアルコールクへのサービス活動～のなかで、私たちの責任を追求しフェロシップを深めるために、日本のAA30周年記念集会を開催いたします。

2005年秋福岡で開かれる記念集会は、北海道から九州・沖縄まで全国のAAメンバーが、回復と一体性と奉仕のために集い、フェロシップと体験を通して、まだ回復への希望を知らないで苦しんでいるアルコールクと、彼らをとりまく家族たちと関係者に対してAAの回復のメッセージを伝えるためのものです。あなたも、ここに参加して一緒にやりましょう。

企画担当常任理事 森田

参考: 30周年チケット売り上げ枚数実績

| 取扱地域  | 参加チケット | ディナーチケット |
|-------|--------|----------|
| JSO   | 31     | 20       |
| 北海道   | 20     | 0        |
| 東北    | 6      | 6        |
| 関東甲信越 | 77     | 14       |
| 中部北陸  | 32     | 0        |
| 関西    | 3      | 2        |
| 中四国   | 32     | 6        |
| 九州沖縄  | 174    | 51       |
| 合計    | 375    | 99       |

※前売りチケットの割引期限が迫っています(5月31日まで4,000円)。お早めに、地域のセントラルオフィスまたはJSOでお買い求めください。

※プログラムの詳細はJSOより各グループに送付します。グループ代議員または地域評議員にお尋ねください。

※二日目のJSO企画では、全国のソプラエティー20年以上のオールドタイマーによるスピーカーズミーティングを予定しています。みなさんの身近に草創期のAAのことを話せるメンバーがいらっしゃいましたら、ぜひJSOにお知らせください。こちらから連絡を取り、スピーカーの依頼をしたいと思います。

## 国際協力献金のお願い

昨年10月、第18回ワールド・サービス・ミーティング(WSM)がニューヨークで開催されました。この集まりは、2年毎にニューヨーク、他の国々と交互に開催されていて、年数にすると第1回目から数え、36年という事になります。世界各地からの参加は年々増え続け、18回WSMには37の、国と地域からの参加となりました。WSMでは今もってAAの届いていない国々、地域へとメッセージを続けることで、年々変化する状況に対応するための話し合いと、各国・各地域が持つ経験の分かち合いがなされています。今回、私は初めての参加でしたが、各国・各地域の経験の分かち合いが、強く印象に残り、AAのプログラムはどこまで行っても同じであることが確認できました。次回は、立候補国ブラジル、アイルランド、フランス、メキシコ、アイスランドの中から開催地選定委員会で協議され、アイルランドに決定しました。全体集会で発表になった時アイルランドの二人の評議員は抱き合って喜び合い、満場の拍手をもらいました。

この地域は数回前より立候補を表明し、詳しくは分かりませんが、数回目ようやく開催地に決定したとのこと。年数に置き換えると10年越しの願いが叶ったといった感があります。

現在AAが目覚ましく拡大している地域は、中米・南米、南アフリカ、それと東アジア地域です。これらの地域は地域文化の特性、(人種 宗教 言語 伝統的文化など)が大きく異なり、そのそれぞれの地域で安定したサービスを提供、メッセージを運ぶためにはその地域の核の役割が大きくなって来ています。この地域では、アジア・オセアニア・サービス・ミーティング(AOSM)がその役割を担っています。この地域でAAプログラム経験の豊かな国はオーストラリア、ニュージーランド、そして日本です。AOSMの中でオーストラリア、ニュージーランドには、南及び西アジアへのメッセージ、サポートが期待されています。しかし、とても多い人種や文化、言葉の壁の報告がWSMの中でもありました。

日本の役割として期待されていることは東北アジアへのメッセージ活動及びサポートです。これまでは韓国AAのオフィスマネージャー、評議員その他サービスメンバーを日本の評議会に招待し、サービス構成の分かち合いをしたこと、

モンゴルの第1回インターナショナルコンベンションに参加し、その後も交流を深めていることなど、着々とその役割を果たしています。また、本年9月にはAA日本30周年記念コンベンションが九州・福岡で開催されます。2日目には「国際シンポジウム」が企画されており、モンゴル、韓国、中国のサービスメンバーを招待する準備が、交流支援を意図として進められています。

この招待の費用については、2005年の評議会にてお願いしましたように、今年の国際協力献金の中から賄います。私たち日本のAAにも30年前に同じようにメッセージが運ばれ、出版財政などを支えられてきた時代があります。今の日本の財務状況はとても厳しい状況にありますが、一体性を深め、サービスを整え、今なお苦しんでいる人たちにメッセージを運びましょう。

**今年も昨年同様に6月3日から17日までの2週間を国際協力献金の協力をお願いする期間とすることにいたしました。全国のメンバー一人一人の協力をお願いいたします。**

WSM前期評議員 金田、後期評議員 今井

## B類常任理事に選ばれて

小 泉 k (B類全体サービス常任理事)

この4月に前任者の任期中の退任により、その補充としてB類常任理事に選出された小泉と申します。任期は2007年12月末で、その間常任理事としての役務を果たすべく自分の「AAの良心」に忠実に行動できたらと思っています。

簡単ですが自己紹介をさせていただきます。

東京下町の生まれで、今はなぜか長野県に住む61歳です。千葉の精神病院で43歳の誕生日を迎えました。借金と子供のことをどうにかしなければならぬというのが最大の心配ごとで、お酒をやめることは頭にありませんでした。夜中、眠れないまま、子供に申し訳ない、人間失格だ！と過去の自分を呪っては泣いていました。社会から無期懲役の宣告をもらい、わが人生はこれで終わりという感じでした。そんな私の前に、社会の落ちこぼれのようなおかしい集団が「神様」とか、「病気だ」とか、「今日一日飲まない」とか、変な笑いを振りまいて現れたのです。自分の恥を、墓場まで持っていきたいことを笑いながらしゃべる彼ら。惨めたらしくて最初は近づきたくない感じでした。でも、その変な仲間が、私を救ってくれました。もしあの病院に入院していなかったら、もしあの病院にAAのメッセージがなかったら今の私は生きていなかったと思います。

AAのサービスについての最初の経験はグループのビジネスでした。つながったグループのビジネス・ミーティングは必ず出席するというのが暗黙の取り決めで、そこではサプライターの年数も社会の肩書きも関係なく自由に発言ができ、完全な民主主義をしてくれました。つながった1ヶ月目から私の発言は多かったほうだと思いますが、でも最初の頃は元老(?)の反対意見で却下されてしまうことがたびたびでした。その時は悔しい思いをしますが、終わった後、反対意見が私の考えに変わっていることに気がつきました。これは初めての経験でした。自分がいる、その中で決められたことは、たとえ自分の意見とは違っても自分の意見になる、ということです。これは霊的な経験でした。

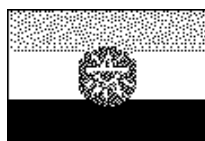
### 私のプロフィール

1年のバースデイの前に4・5を済ませることがグループの暗黙の提案で、11ヶ月で4・5を済ませました。その「4」の最後のページの中でハイヤーパワーが私に示した言葉が私のバックボーンとなっています。「私が、お前を救ってあげたのだから、お前は私の道具になる務めがあるのだよ」

- ◎ 1987年6月に千葉県の病院を退院してAAへ。
- ◎ 1988年、茨城県、豊和麗病院のメッセージ開始。
- ◎ 1989年、埼玉地区・病院・施設委員。
- ◎ 1989年、茨城県・古河Gを開始。
- ◎ 1992年、茨城県・水戸Gを開始。
- ◎ 1994年、「ラウンドアップIN茨城」実行委員長。
- ◎ 1995～1996年関東甲信越地域集会副・議長。
- ◎ 1995年「AA20周年」事務局。
- ◎ 1996年「サービスガイド」小委員会委員。
- ◎ 1997年、長野県・駒ヶ根Gを開始。
- ◎ 1998～1999年評議員。
- ◎ AAのないところに、仲間にAAを届けたい、そのためにミーティング場を開きたい。AAと出会ってからそれだけをやってきたつもりです。

この4月より常任理事を任されることになり、AAメンバーとして大変な光栄だと思っています。自分で理解している神の意思を知り、それだけを行っていく力を祈りと黙想によって与えられますように。過去も、今も、これからも、それが出来るのは

神さま、あなたがそばにいてくれたから！  
あなたがそばにいてくれるから！



### エチオピアより

今年3月、エチオピアでAA活動を始めた仲間の一人からJ SOにメールが届きました。J SO国際担当デスクは、このコンタクトの趣旨や、エチオピアにどのようにしてAAメッセージが運ばれたのか、いくつかの質問をしました。

エチオピアでAAが始まったのは、まったくの偶然からでした。3年前、アディスという街で一人のエチオピア人アルコホーリックが、アメリカ・テキサスからの旅行者と出会いました。彼女はAAメンバーでした。そのとき彼は絶望の中におり、彼女はそれを見てとったのか、彼をコーヒーショップへ連れて行き、お互いの経験を分かち合ったのです。この偶然の出会いによって、エチオピアでAAがスタートしました。そのあと彼は、J SOに連絡をくれた仲間や他の仲間がこの話を伝えていきました。

このAAグループはホープ・グループと名付けられ、アメリカ・テキサス州のグループや個人のレベルで、スポンサーシップをとっています。

現在、エチオピアAAが抱えている問題は、メッセージ活動に必要なAA書籍に関するものです。エチオピアには多くの異なった言語があるために、この病気で苦しんでいる仲間たちに手を差し伸べたくても、既存のAA書籍を活用することができないのです。彼らは、J SOやその他の国々に対してAA書籍の翻訳に関する援助を求めています。

J SO国際は、ニューヨーク G SOに対して、このやり取りを報告しました。

J SO 国際担当デスク

## AAの愛とサービスの輪 ～東北～

### メッセンジャーになった理由

僕たちの東北セントラルオフィスでは現在「12ステップコール」という方法で、今苦しんでいるアルコールにAAプログラムが届けられるシステムを取り入れて活動をしています。この「12ステップコール」とは、今苦しんでいるアルコールからの電話を受け取ると、それをメンバーが直接自分の12番目のステップ活動で手助けをすることができるシステムです。任意の登録メッセンジャーたちがAAに助けを求める人に直接プログラムを伝え、AAの活動に導くチャンスをつかむためのものです。

僕の頭の中はいつも、自分の幸せ・自分の利益・自分の将来などなど、自分の事しか考える事しかできない、とってもかわいそうな人間でした。

その考えが大もとから変わっていく奇跡が起きたのは、スポンサーシップ、ビッグブックを使ったステップ・ミーティングなどAAの仲間と一緒にやるAAプログラムでした。お酒を飲まないで生きられている、家族に笑いが戻った、生きているのって楽しい、いつも死にたいと考えていたのが、生きたいという考えに変わっていた。そして何よりハイヤーパワーへの信仰が与えられた！・・・

「確かに今の僕は以前には考えられないほどに幸せになったかもしれない。だけど、AAプログラムを知らないで、どうやってアルコールから回復していけばいいか知らずに死んでいくかもしれない人たちはどうなるのだ！」今苦しんでいるアルコールが他人事ではなくなってきたのです。「AAメンバーの責任としてAAプログラムを今苦しんでいるアルコールに伝えなければならない。」

それらの経緯から、冒頭でも述べた「12ステップコール」のメッセンジャーとして東北セントラルオフィスに登録しました。東北セントラルオフィスは、12ステップコールを受けるために東北で唯一のAAの問合せ先として電話/FAXを公開しています。もしそのオフィスが無くなってしまうと、もちろん12ステップコールも無くなってしまいます。助かるはずだったはずの今苦しんでいるアルコールがAAプログラムを知る前に死んでいくかもしれません。

「この町に住む何人かの仲間が自分の進むべき道を見つけ、ほかの人がもう一度人生に立ち向かえるように手助けをする喜びを知ったら、この町のすべてのアルコールに回復の機会が与えられるまでは・・・その活動を終わらせないだろう」(ビッグブック P239)

「12ステップコール活動」は、きっとこれから先も終わることはないでしょう・・・

山形地区 AA最上グループ・メンバー

### 私たちのサービス グループのサービス

私は、自宅から近いミーティング会場古川グループへ訪れるようになっていました。何度目にミーティング会場へ入った時か忘れましたが、メンバーの一人から「いっしょに会場の準備をやらないか。」と声をかけられて、それに応えたのが私のグループサービス始まりと思っています。

私は、毎週ミーティングの始まる30分前に会場に入り、「会場係」のメンバーと共にテーブル・椅子を用意し、インスタントコーヒーのお湯を用意してからミーティングの始まる時間と後から来るメンバーを待ちました。待ち時間の間にメンバーと世間話やメンバーの経験話を聞くことが出来ました。会場準備の手伝いを何度かする内に私は、ホームグループとスポンサーを決めました。

3ヶ月ほど過ぎた頃、ホームグループメンバーが「会場係をやってみないか。」と勧めてくれました。もちろん、私は、引き受けました。先に書き記したことの他に司会進行もしました。さらに3ヶ月過ぎる頃、「会計係」をしてみないか。」と勧められました。

私は、心の中で迷いが湧きました。会場係の時も迷いは、ありました。「いつ呑み出すか。分からないのに!」「ましてやお金勘定ができるのだろうか。」私は、これまでの事を振り返りました。会場係として司会進行などをして失敗しました。その失敗のきっかけは、私が呑んでくっていた頃の問題点と一緒に、会場係をする中、ステップを使うことにより気付かせてもらえました。分からなければグループメンバーやスポンサーに聞くことで解決法を学ばせてもらうこともあると思い会計係を引き受けることにしました。失敗してもすぐにグループメンバーやスポンサーに報告をし、解決法を共に考えたり、提案をいただいています。呑んでくれているどこにも自分自身の身の置き場がなかった私が、AAを知るきっかけとなった一枚の紙切れ、手渡された一冊の本、それらを手にするまでに地区、地域、セントラルオフィス、JSOの存在があったことを知りました。1年前より代議員をさせていただき「今苦しんでいるアルコールに何が出来るか」グループの良心を地区・地域に届けています。次にチャンスがあれば、セントラルオフィス委員をやりたいです。

宮城県 古川グループ 渡邊

### マスメディアを利用するにあたって

広報担当理事 原田

AAのどのような集まりや委員会であれ、一人のアルコールがもう一人のアルコールに「AAの回復のプログラム」を通して回復の手助けをすることに帰結するものです。そして私たちAAメンバーの飲まないで生きる喜びも、この12番目のステップ活動を抜きにしては存在しないといってもいい過ぎではありません。

従来の病院メッセージ、医療関係者への広報活動もしっかりと各地域で根付いている中、ここ数年の間に看護学校、矯正施設、更生保護施設、民生委員の集まりなど、新しい分野へのAAメッセージ活動が根付いてきています。

しかし、過去3回のメンバーシップサーベイでの集計でもはっきりとしたのですが、AAにつながり続けるメンバーが増えないという現状にあります。どうしてかという答えはありません。が、正直に棚卸しをすると、私たちがまだ積極的に目を向けていない部分があります。

アメリカのAAは1939年から1941年にかけて、リバーティ誌、クリーブランド・プレイン・ディーラー誌、サタディ・イブニング・ポスト誌などがAAの記事を掲載したおかげで、一般社会へAAの存在がしれわたり急速に拡大しました。(ちなみにこの時AAの献金が始まったといわれています)。

社会性格が異なる日本とアメリカで決して同じようにとはいえないものと思われますが、日本のAAが誕生して30年を迎えるにあたってかなり消極的な感じがします。

今年の評議会で広報委員会から「マスメディア」を利用するための事業計画を2件予算で承認されました。

一つは、グループ、地区、地域でマスメディアを利用した時に発生する様々な問題の経験を集積し、新たにマスメディアを利用するグループ、地区、地域で活用していただく冊子にする。もう一つはマスメディアへの対応として資料の提供、掲載費用です。

マスメディアと接触する際の資料がJ S Oに用意されていますので利用していただきたいです。

### マスメディア広報経験の原稿募集

**趣旨** 全国的にマスメディアへの広報活動を手がけていくことが、現在また未来の、私たちの共同体が大きくなっていくのに不可欠な要素であるから。

**原稿** テーマはありません。グループ、地区、地域でどのような経過(喜びや苦労また達成感など)で実践されたかを400字詰め原稿用紙5枚程度でお願いしたいです。

広報資料として毎年利用して頂きたいので締め切りはありません。

ある程度集まりましたら小委員会を編成し、作成印刷します。

\*原稿送付等はJ S Oに問い合わせてください。また、参考資料としてJ S Oにいくつかありますので利用してください。

### 「好きなことを仕事に・・・感謝！」

皆さん、こんにちは。

昨年10月よりJ S O国際担当デスクのアルバイト・スタッフとしてお世話になっております、金沢です。アルコールクです。

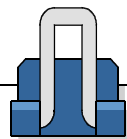
国際担当デスクの主な業務は、WSM(ワールド・サービス・ミーティング)やAOSM(アジア・オセアニア・サービス・ミーティング)に関する翻訳業務、ニューヨークや他国G S Oとの連絡業務、他国から日本にいられたAAメンバーに対するミーティング案内業務や、英語を含む他言語の書籍管理などです。

国際業務と並行して、AA書籍やパンフレット類の翻訳・校正など出版局の業務や、その他J S Oの日常業務に携わらせていただいています。

8年前、AAは私のすべてに「革命」を起こしてくれました。ソプラエティを与えられる中で自分の方向性を模索し、ずいぶん前に諦めていた目標を、改めて建て直す勇気と時間も与えられました。そうして、以前から暮らしてみたかったカナダへ語学留学として向かいました。現地でもやはりAAの仲間を守られながらソプラエティを保つことができ、自分で納得できる目

標を無事に達成することができました。通算して2年4ヶ月のカナダ生活でした。AAに辿り着くまでの私は、「継続」や「努力」とは無縁でした。コツコツと努力をして何かを達成した後の感動というものを体験したことがなかったのです。留学までの数年間から留学中の期間、社会で働くことも学生に戻ることも、それら継続や努力を抜きにはあり得ませんでした。そうして、またしても革命が起きました。等身大の自分を感じることができたのです。努力は報われるということを経験し、私にも努力をする能力があったんだ、という気づきが大きなギフトになりました。帰国後は、一般企業で翻訳業務を経験することができ、空いた時間にAAの翻訳ボランティアをさせていただきました。

その経験を、偉大なAAの分野で少しでも生かすことができるというのは、本当にありがたく、嬉しいことです。社会の中でもAAの中でも、まだまだ無知な私ですが、努力していく次第です。ご指導の程よろしくお願いいたします。



#### 会計担当より

いつも大きな愛に包まれた献金をお届けいただき、心から感謝申し上げます。

業務手順の簡素化を計る中、領収証の要不要の明記をお願いする次第でございます。グループのビジネスミーティング等で必要な場合は、どうぞ「要」に丸を、不必要であれば「否」に丸を記していただきますようお願い申し上げます。

#### グループ担当より

会計報告を始め、様々な情報を毎月送らせていただいております。基本的に代議員の届け先住所に送付していますが、グループの都合などで届け先を変更することは可能です。

B O X 9 1 6 の送付先についても同様に対応いたします。代議員の変更や送付先の変更は、グループハンドブックの巻末についている届け出用紙をコピーして、必要事項をご記入の上、F A Xあるいは郵送にてお届けいただきますようお願い申し上げます。なお、ホームページにも届け出用紙を掲載いたしましたのでご活用ください。

**住所のご記入の際に、建物の名称(アパート・マンションなど)、部屋の番号などを是非明記いただきますようお願い申し上げます。**

今年もうすぐ3分の1が過ぎてしまいますね、風薫る季節、爽やかに飲まない日々が過ごせますよう、心からお祈り申し上げます。

J S O 水谷

## AA日本ニューズレターNo. 111

編集・発行：N P O 法人 AA日本ゼネラルサービス(J S O) 〒171-0014東京都豊島区池袋4-17-10土屋ビル4 F

TEL:03-3590-5377 FAX:03-3590-5419 ホームページ：<http://www.aajapan.org>